活動履歴と今後の予定

10/3　北浜住宅役員会
10/4　あすと長町第三みのり会役員会
10/18　錦町食堂／錦町東住宅役員会
10/20　塩竈市被災者支援ネットワーク会議
10/21　公開シンポジウムLINK登壇
10/24　芋煮会@岩沼れんがのおうち
10/25　第17回つながりデザイン会議
　　表札づくりWS@盛岡市南青山アパート
10/26　あすと長町居住者・支援者連携協議会
　　しおたが被災者支援ネットワーク会議
11/1　ターポリンWS@荒井東住宅
11/14　立憲民主党枝野代表懇談会
11/15　錦町東住宅役員会
11/25　シェアハウス長町南歓迎BBQ
11/28　岩沼れんがのおうちお試し利用説明会
　　玉浦西担い手会議
12/6　きたはま食堂／あすと長町第三みのり会役員会
12/12　岩沼まちづくり会議
12/13　イルミネーションかざりつけ@荒井東住宅
12/19　北浜住宅役員会
12/20　錦町東住宅役員会

あすと食堂 再開しました！

〈これまでの内容とこれからの予定〉＊カッコ内は調理担当団体です。

12/5　あすと第二食堂
　　（高齢者配食サービスほっと亭）

※新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを作成し、対策を取りながら再開しました。

テイクアウトOK!

会員数

正会員 35（-2）　賛助会員 23（±0）

facebook

いいね!数 519（+5）

2020年12月1日 現在（前号比）

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 https://tsunacen.thebase.in/

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。
・正 会 員：年間6,000円・総会議決権あり
・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

＜口座名義＞特定非営利活動法人つながりデザインセンター
●郵便振替：02230－8－121908
●郵便振込：ゆうちょ銀行　二二九支店（ニニキュウ）　当座預金　0121908

会員団体のみなさま

@グリーン（宮城大学ボランティアサークル）　安全安心なまちづくり　SD不動産
NPO法人アートワークショップすんぷちょ　NPO法人 仙台傾聴の会　NPO都市住宅とまちづくり研究会
NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊　NPO法人 みやぎ「こうでねいと」　株式会社ミツイ　共立女子大学 高橋研究室
グループひまわり　CASEまちづくり研究所　高齢者配食サービス「ほっと亭」　今野不動産株式会社　仙台白百合女子大学 佐々木研究室
仙台南健康友の会　つばさ薬局長町店　東北工業大学 新井研究室　東北工業大学 谷本研究室
東北大学 東日本大震災PGT支援機構　東北福祉大学 平泉研究室　東北学院大学 坂本研究室　都市建築設計集団/UAPP
長崎大学安武研究室　宮城厚生協会長町病院　宮城大学 森本研究室　有限会社栗駒建業

役員名簿

代　表：薄田 榮一
副代表：新井 信幸
理　事：及川 多香子
理　事：加藤 渉
理　事：松原 久
理　事：宮本 愛
監　事：金沢 和樹
監　事：佐々木 裕子

編集後記

東日本大震災から10年を前にして、最近は「復興の現在地」、「この先の10年」に答える取材やアンケート等が頻発しています。「人生いろいろ♫」のように、「地域によって様々」と一言で片付けたくなりますが、それでは何も答えてないのと一緒なので、地域の特性などを踏まえつつ、対処療法にとどまらない体質改善型の地域運営のあり方について提言していきたいと思っています。〈新井〉

認定NPO法人
つながりデザインセンター
〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205
TEL　080－3205－5177
MAIL　asuto@tsuna-cen.com
WEB　www.tsuna-cen.com

GOOD DESIGN AWARD 2018

つなセン NEWS

TSUNAGARI Design Center

17
2020.12



多世代が混ざり合う清水沢東住宅の2019年夏祭りの一コマ（パン食い競争）

次世代を見据えて

空き家からはじまる、新たなつながり拠点！
シェアハウス長町南DIY最終章！
新立憲民主党の枝野代表があすと長町を訪問
【団体紹介】谷本裕香子研究室（東北工業大学）

www.tsuna-cen.com

活動報告

Main Topic

ダイアローグ 新たな地域運営への

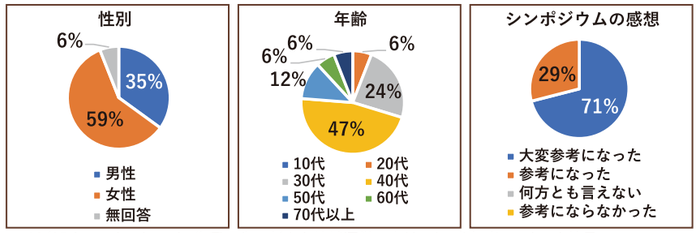
1 被災地の自治組織



▲10/25オンラインイベント「復興の先の新たな地域運営に向けて」の様子。
※内容については「Fw:東北 Fan meeting Vol.8（2020.9.24）」の動画でもご視聴できます。
https://www.youtube.com/watch?v=rybkvWZTIBY&feature=youtu.be

私たちつなセンでは、各地の災害公営住宅におけるコミュニティづくりや地域運営体制の構築支援を続けています。これまでもたびたびお伝えしていますが、多くの被災地は高齢化し、自治組織の活動が停滞しているか、あるいは崩壊しつつあるところがみられています。そうした状況を改善するには、自治組織の役割の整理とスリム化が必須だと考えています。簡潔に説明しますと、自治組織は住民にとって概ね義務となる内容（災害公営住宅の場合は住宅管理）に特化して役割を果たし、日常的なお茶会や、お祭りなどの年中行事イベント等はサークル、NPOなど地区の領域を問わず任意のグループが担っていく体制にしていくことで、地域自治の持続性のみならず、地域の活性化という点でも有利に働くと考えています。こうした地域の役割分担は時の経過とともに自然にシフトしていくものと思われますが、そのシフトがスムーズにいかない場合は、高齢者等の孤立化がますます顕著となり、ときには住民同士の対立や分断が生じていくものと予期しています。すでにこの悪い想定の災害公営住宅等が実際にいくつも現れています。

一方、清水沢東住宅（塩竈市）は、スムーズにシフトした先進事例としてあげられます。10月25日に開催したつなセン主催のオンラインイベントにご登壇いただいた清水沢東会（自治組織）代表の坂口節子さんと副代表の福田由佳さんからは、集会所の利用を外部に開いて平日ほぼ毎日利用され、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会などは実行委員会方式で実施されている様子をご紹介いただきました。



▲10/25オンラインイベント「復興の先の新たな地域運営に向けて」の参加者アンケート結果

2 新たな地域運営への第一歩



▲あすと長町居住者・支援者連携協議会の様子

つなセンでは、その他の地域でも、新たな地域運営体制へのスムーズなシフトを促す取り組みを始めていて、あすと長町にて「居住者・支援者連携協議会」を開始しました。10月26日に開催した第一回にはあすと長町第二・三市営（災害公営）住宅の住民組織と、そこを中心に活動を展開する団体等の参加があり、地域の問題解決とともに自らの活動内容の充実を目指して意見交換を行いました（参加団体は表の通り）。

第一回 あすと長町居住者・支援者連携協議会参加団体一覧

- ●あすと長町第二市営住宅　住民の会
- ●あすと長町第三市営住宅　みのり会
- ●NPO法人仙台傾聴の会　●株式会社ミツイ
- ●東北学院大学災害ボランティアステーション
- ●仙台白百合女子大学 佐々木裕子ゼミ
- ●東北工業大学 新井信幸研究室
- ●NPO法人アートワークショップすんぷちょ
- ●仙台南健康友の会　●ほっと亭　●支えあいセンターたいはく
- ●認定NPO法人つながりデザインセンター

3 集会所の運営がカギ

あすと長町第三市営住宅では、集会所の管理（予約受付、鍵の開閉）が課題となっています。これまで管理いただいていた住民の方は、健康上の理由で継続が難しくなり、他に担い手も見つからないことから、利用は住民組織の役員会以外はクローズドの状態が続いています。同協議会では、そうした現状について話し合い、外部の支援団体や企業がサポートできないかと前向きに検討を進めているところです。

会員団体紹介 No.17

谷本裕香子研究室（東北工業大学）



東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科に所属する谷本研究室は、共生社会の実現に向けた地域と建築空間のデザインをテーマに、福祉・ユニバーサルデザインの視点からまちづくりと建築空間のデザインをしています。現在研究室には4年生7名、3年生11名の学生が在籍し、学生の興味・関心分野を協議しながらテーマを考え、古いマンションのリノベーションプラン作成や衰退した映画館の再起へ向けたプラン作成など研究や制作に取り組んでいます。

つなセンが岩沼市で取り組む空き家活用事業では、建築・設計の知識を活かし模型作成などの協力をいただき、ワークショップの運営や利活用のルールづくりなどを学生とともに検討しています。また、今年度発行予定の見守りブックレットでは、谷本先生の研究テーマでもある高齢者・障害者施設の建築空間とケアの視点から、見守り体制のあり方を共に探っています。

Topics

空き家からはじまる、新たなつながり拠点！

2020年7月より始動した「岩沼空き家活用プロジェクト」では、毎月1回のペースでこれまで4回の地域交流イベントを開催してきました。10月に開催した「芋煮会」では大きな寸胴鍋で50人分の芋煮を調理し、親子連れを中心に、岩沼で様々な活動を行う方々など、会場に入りきらないほどの方にご参加頂きました。南向きのウッドデッキも日当たりが良く、座布団を敷いて、あつあつの芋煮を頬張る親子さんの姿がありました。



また11月には、9月の陶芸ワークショップで作成した陶芸作品の引き渡しがありました。焼きあがったご飯茶碗やコーヒーカップを受け取った参加者からは「作ったときより小さくなってる！」「良くできてる！」などの声があがりました。そして出来上がったばかりの器でお茶会し、今後の「岩沼れんがのおうち」の活用について検討会を行いました。1階部分はこの日からレンタルが開始されています。ご予約はオンラインサイトから。たくさんのご利用お待ちしております。



〈れんがのおうち予約サイトURL〉https://reserva.be/20201128

シェアハウス長町南DIY最終章！

9月より作業開始している菜園付きシェアハウス長町南のDIYは東北工業大学の学生さんの手を借りて、障子の張り替え、棚の取り付け、トイレ壁面のペンキ塗り、網戸張り替えなどが完了しています。障子や網戸などを自分で張り替えた経験が無かった学生さんも、YouTubeで調べるなどして作業を進めてくれました。古びた洗面台にはタイルを貼って可愛く仕上げるなど、丁寧な作業を行なっています。内覧も受付ております。詳しくは事務局までお問い合わせください。



新立憲民主党の枝野代表があすと長町を訪問

11月14日、新立憲民主党の枝野代表があすと長町を訪問し、第一、第二、第三市営住宅の住民代表らと各住宅に関わる支援団体計15名が、意見交換のため集まりました。



住民から、高齢化や孤立死等、コミュニティの問題や、家賃上昇などの課題が深刻化していることが挙げられ、つなセンからは、孤立を防ぐコミュニティづくりのため、集会所を活用した多様なふれあいの場の重要性をお伝えしました。限られた時間でしたが、現場の声が今後の政策提言等に生かされることを期待します。